



TITLE 一隅を照らす



大島建材店 大島健作

新年明けましておめでとうございます。皆さんはどんな新年を迎えられましたか。私は6時半頃からウォーキングに出掛けました。いつもと違うコースを歩いたのですが、7時過ぎになってからようやく空も明るくなりました。今日は快晴のようですね。

こうして元気で元旦からウォーキングが出来ることを、心から感謝したいと思っています。母と家内はちょっと風邪気味なのですが、私はいたって元気です。足のマメも全然気になりません。途中で私の母校大東高校近くの加多神社へ初詣をしたのですが、お賽銭を忘れていました。明日のウォーキングの時にもう一回お参りしてきます。

さて、母校の大東高校を卒業してから、今年の3月で34年になります。ホント早いものですね。私は高校が終わると、3年間大阪で修行のようなものをした後、郷里に帰り父が興した建材店の仕事を始めたのですが、ある方に会うまでは父の跡継ぎをしようとは思っていませんでした。

高校時代の私は福祉関係の事業をしたいという夢があり、父と母がしていることは金儲けであると決め付けていて眼中に無かったのです。高校3年の夏休みに姉が嫁いでいる大阪へ遊びに行ったときにある方がこう言われました。

「大きな組織の歯車になるより、お父さんのお店があるじゃないか。世の中の片隅でもいいから**“一隅を照らす”**生き方、つまりあなたの周りの人を明るくする生き方も素晴らしいんだよ」

これが私にとっては大きな転機だったようですね。

そして**“一隅を照らす”**は私の初心になったのですが、時々忘れてしまい困ったものです。

さて、昨日、広島の方から年末挨拶状を頂きました。何と、ハガキの表面の下半分にこの方の2007年の目標が一覧表にしてあるのです。仕事・趣味・読書・家庭・健康・勉強・新知識他全部で9項目に目標が書いてあるのです。驚きました、世の中にはスゴイ人がおられるのですね。そして、裏面もすごかったのです。こんなハガキをもらったら、とても印象に残りますね。

私も負けずに2007年の目標を設定しないとイケないと強く思った今日この頃です。